

Capture NX Ver. 1.1 新規機能のご案内

このたびは、Capture NX Ver. 1.1 をお買い上げくださりまして、まことにありがとうございます。Capture NX Ver. 1.1 は、ニコンデジタル一眼レフカメラ D80 および D40 で撮影された RAW 画像をサポートし、さらに付属の使用説明書の内容に加えて以下のような新機能が追加されています。

動作環境 (使用説明書 P.5)

Capture NX Ver. 1.1 では、Windows Vista および Intel プロセッサ搭載 Macintosh をサポートしました。

OS

Windows

32bit 版の Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate
(すべてプリインストールモデルのみ対応)

プロセッサ

Macintosh

PowerPC G4、PowerPC G5、Intel Core Solo、Intel Core Duo、Intel Core 2 Duo、Intel Xeon

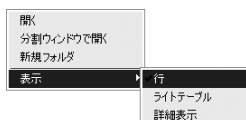
新機能

ブラウザー (使用説明書 P.29)

新たに追加されたショートカットを利用して、ブラウザーを開いたり、ブラウザーの表示を変更したりすることができます。ブラウザーが閉じているときに下記のショートカットを押すと、ブラウザーはそれぞれの表示で開きます。ブラウザーがすでに開いている場合は、各ショートカットに応じた表示に切り替わります。また、ブラウザーがショートカットと同じ状態の場合に再度ショートカットを押すと、ブラウザーを閉じることができます。

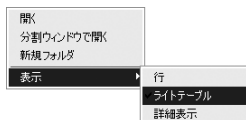
● 行表示でブラウザーを開く / 行表示に切り換える

ショートカット: Alt + 1 (Windows)
Option + 1 (Mac OS)



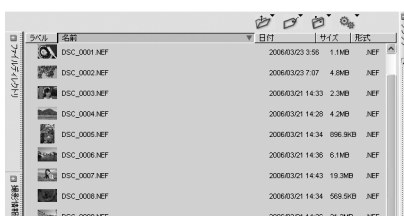
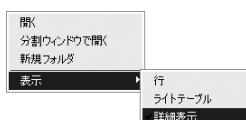
● ライトテーブル表示でブラウザーを開く / ライトテーブル表示に切り換える

ショートカット: Alt + 2 (Windows)
Option + 2 (Mac OS)



● 詳細表示でブラウザーを開く / 詳細表示に切り換える

ショートカット: Alt + 3 (Windows)
Option + 3 (Mac OS)



IPTC (使用説明書 P.41)



[OK] および [キャンセル] ボタンはそれぞれ [適用] および [リセット] ボタンに名称変更されました。IPTC 情報パレットに情報を入力した後に [適用] ボタンをクリックすると、情報がファイルに保存されます。[適用] ボタンをクリックする前に [リセット] ボタンをクリックすると、入力した情報は取り消されます。

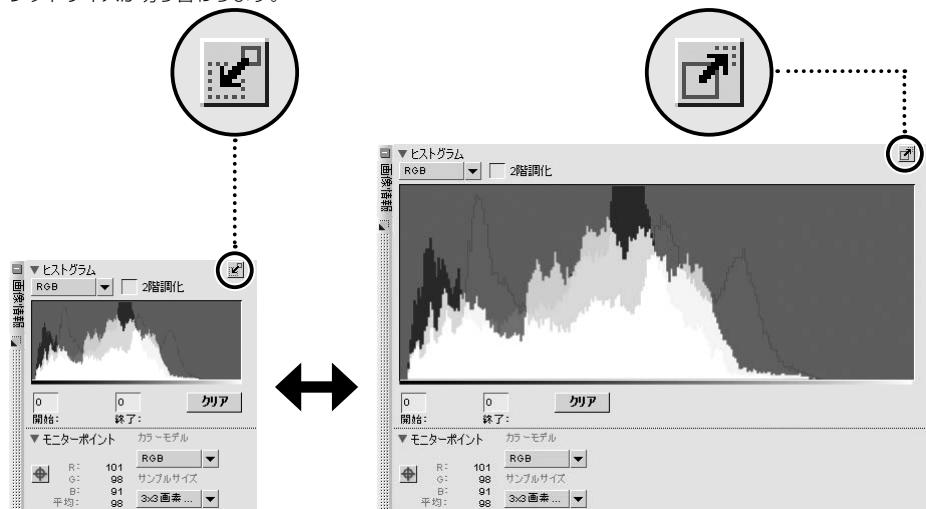


選択ブラシのショートカット (使用説明書 P.91)

選択ブラシを使用中に、1桁、または2桁の数字を入力すると、ブラシの不透明度を設定することができます。1桁の数字(0~9)には、不透明度が10%単位で割り当てられています(1=10%、2=20%...0=100%)。2桁の数字を入力すると、1%単位で不透明度を入力できます(55と入力すると55%に、06と入力すると6%に設定されます)。

画像情報 (使用説明書 P.99)

画像情報パレットのレイアウトが変更され、いっそう正確にヒストグラムを表示できるようになりました。ヒストグラムを拡大表示するボタンも追加されました。下図の  /  ボタンをクリックすることによってパレットサイズが切り替わります。



画像を開く (使用説明書 P.113)



[ファイル] メニューの「画像を開く」で表示される [ファイルを開く] ダイアログにプレビューが表示されるようになりました。

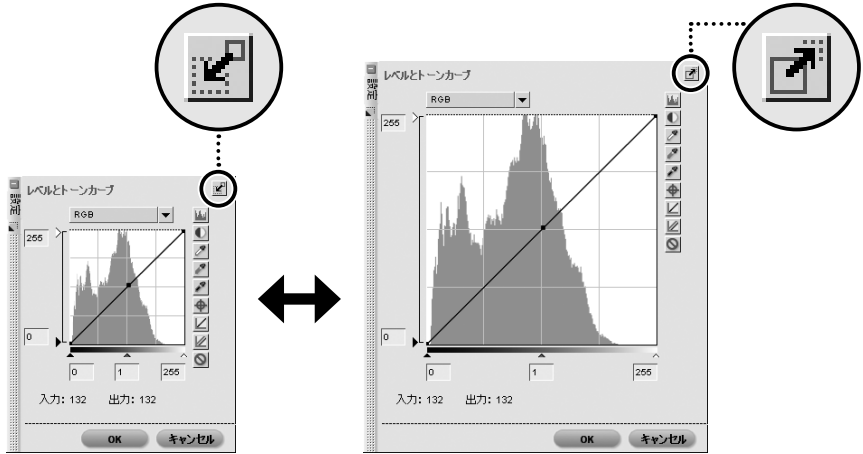


他のアプリケーションを使用して画像を開く (使用説明書 P.113)



Capture NX で開いている画像を [ファイル] メニューの [他のアプリケーションを使用して画像を開く] を使用して開くと、元画像と同じフォルダ内に同じ名前前の「.tif」形式のファイルが作成されます。同じ名前前の「.tif」形式のファイルがすでに存在する場合、ファイル名に「_n」(nは1から始まる整数)が付加されます(例: Image_1.tif など)。

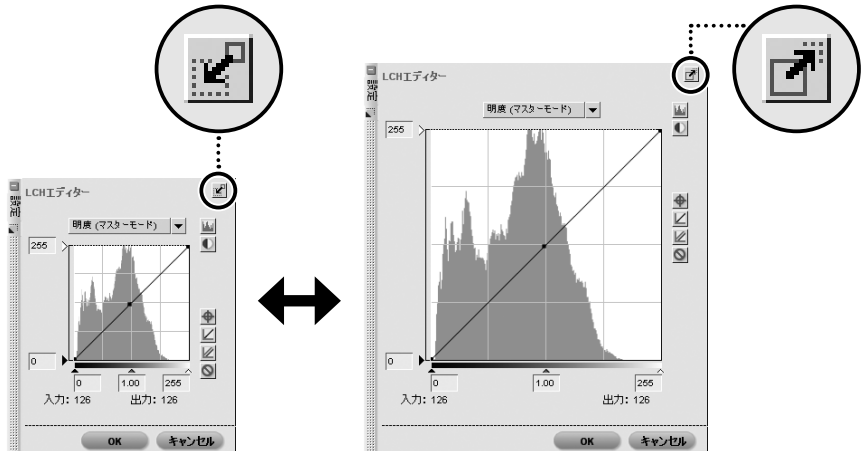
レベルとトーンカーブ (使用説明書 P.137)

レベルとトーンカーブ機能がいっそう使いやすくなりました。下図の  /  ボタンをクリックすることによってダイアログサイズが切り替わります。



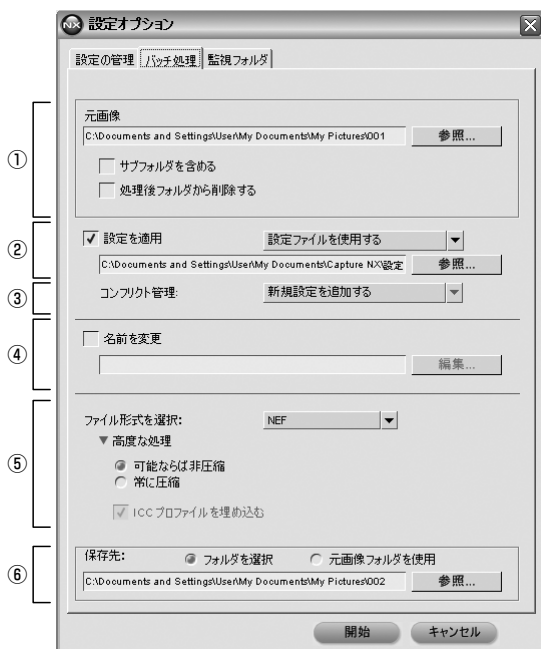
LCH エディター (使用説明書 P.144)

LCH エディターがいっそう使いやすくなりました。下図の  /  ボタンをクリックすることによってダイアログサイズが切り替わります。



バッチ処理 (使用説明書 P.188)

「バッチ処理」ダイアログの機能性と操作性がいっそう向上しました。



① 元画像

参照

[元画像] セクションの [参照] ボタンをクリックすると、バッチ処理を適用する画像を含むフォルダを指定できます。

サブフォルダを含める

[サブフォルダを含める] チェックボックスをチェックすると、フォルダ内のすべてのフォルダの画像に対してバッチ処理が行われます。

処理後フォルダから削除する

[処理後フォルダから削除する] チェックボックスをチェックすると、バッチ処理の完了後元画像ファイルが削除されます。

② 設定を適用

[設定を適用] チェックボックスをチェックすると、設定ファイルを画像に適用したり、NEF 形式の画像を元の状態に戻すことができます。画像調整の設定ファイルを適用しないでバッチ処理を行う場合は、チェックを外してください。

バッチモード

・設定ファイルを使用する

[参照] ボタンを使用して、画像に適用する設定ファイルを選択できます。

参照： [参照] ボタンをクリックして、画像に適用する設定ファイルを指定します。

・撮影時の状態に戻す

[撮影時の状態に戻す] を選択すると、NEF 形式の画像を撮影時の状態に戻します。また NEF 形式に変換したファイルの場合は、Capture NX で行ったすべての画像調整を削除して元の状態に戻します。

③ コンフリクト管理

NEF 形式のファイルのバッチ処理で [設定ファイルを使用する] を選択した場合に、バッチ処理中に発生する可能性のある相反する機能を Capture NX がどのように対処するか設定します。

新規設定を追加する

[新規設定を追加する] を選択すると、基本画像調整については設定ファイルを置き換え、画像ステップについては新規に追加してバッチ処理を行います。

現在の設定を置き換える

[現在の設定を置き換える] を選択すると、基本画像調整と画像ステップの両方の設定ファイルを置き換えてバッチ処理を行います。

違いを表示

[違いを表示] では、処理を既にもっている画像ごとに [違いを表示] ダイアログで設定しなおすことが可能です。この過程では、バッチ処理に影響される処理のうち、どの処理を置き換え、どの処理を保持するか選択することができます。

④ 名前を変更

[名前を変更] チェックボックスをチェックすると、[ファイル名の作成ルール] ダイアログによって画像のファイル名を変更できます。[編集] ボタンをクリックすると、[ファイル名の作成ルール] ダイアログが表示されます。

⑤ ファイル形式を選択

プルダウンメニューでバッチ処理後の画像のファイル形式を、[JPG]、[NEF]、[TIF] から選択します。

- [NEF] を選択すると、[高度な処理] メニューで [可能ならば非圧縮] と [常に圧縮] から選択できるようになります。

- [TIF] を選択すると、[高度な処理] メニューで [RGB]、[CMYK] のどちらかを選択できるようになります。[RGB] を選択した場合、さらに [常に 8 ビット]、[可能ならば 16 ビット]、[しない]、[LZW] のいずれかを選択できます。

[ICC プロファイルを埋め込む] チェックボックスをチェックすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。

- [JPG] を選択すると、プルダウンメニューで [最高圧縮率 (低画像)]、[高圧縮率]、[標準]、[高画質]、[最高画質 (低圧縮率)] から選択できるようになります。また、画質スライダーで画質を調整することもできます。

[ICC プロファイルを埋め込む] チェックボックスをチェックすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。

⑥ 保存先

保存先選択は、画像の保存先を選択するために用います。

フォルダを選択

[フォルダを選択] を選ぶことにより、バッチ処理後に画像の保存先として使用するフォルダを指定することができます。参照ボタンをクリックし、処理済画像を保存する場所を指定します。

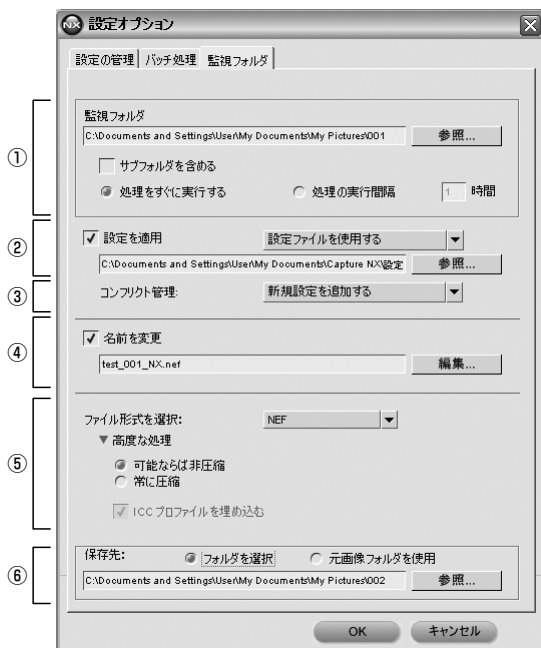
元画像フォルダを使用

[元画像フォルダを使用] は、処理済ファイルを元のフォルダに保存します。

監視フォルダ (使用説明書 P.190)

「監視フォルダ」ダイアログの機能性と操作性がいっそう向上しました。

「監視フォルダ」ダイアログ内で、設定ファイルを適用せずにバッチ処理を開始したり、NEF ファイルを元の状態に復帰させたりすることができます。



① 監視フォルダ

参照

「監視フォルダ」セクションの「参照」ボタンをクリックすると、バッチ処理を適用する新規画像の監視を行うフォルダを指定できます。

サブフォルダを含める

「サブフォルダを含める」チェックボックスをチェックすると、フォルダ内のすべてのフォルダの画像に対して監視が行われます。

処理をすぐに実行する

「処理をすぐに実行する」は、監視フォルダに新規画像があるかどうかを常にチェックして、新規画像が置かれるとすぐに設定ファイルを適用します。

処理の実行間隔

監視フォルダをチェックする時間間隔を入力します。

② 設定を適用

「設定を適用」チェックボックスをチェックすると、設定ファイルを画像に適用したり、NEF 形式の画像を元の状態に戻すことができます。画像調整の設定ファイルを適用しないでバッチ処理を行う場合は、チェックを外してください。

バッチモード

・ 設定ファイルを使用する

「参照」ボタンを使用して、監視フォルダ内の画像に適用する設定ファイルを選択できます。

参照： 「参照」ボタンをクリックして、画像に適用する設定ファイルを指定します。

・ 撮影時の状態に戻す

[撮影時の状態に戻す] を選択すると、NEF 形式の画像を撮影時の状態に戻します。また NEF 形式に変換したファイルの場合は、Capture NX で行ったすべての画像調整を削除して元の状態に戻します。

③ コンフリクト管理

NEF 形式のファイルのバッチ処理で [設定ファイルを使用する] を選択した場合に、バッチ処理中に発生する可能性のある相反する機能を Capture NX がどのように対処するか設定します。

新規設定を追加する

[新規設定を追加する] を選択すると、基本画像調整については設定ファイルを置き換え、画像ステップについては新規に追加してバッチ処理を行います。

現在の設定を置き換える

[現在の設定を置き換える] を選択すると、基本画像調整と画像ステップの両方の設定ファイルを置き換えてバッチ処理を行います。

スキップして継続

[スキップして継続] では、相反する画像調整が検出された場合、処理を行わずにスキップします。画像名とコンフリクトが発生した時間を含むエラーがログに書き込まれます。

④ 名前を変更

[名前を変更] チェックボックスをチェックすると、[ファイル名の作成ルール] ダイアログにあるファイル名作成方式によって画像のファイル名を変更できます。[編集] ボタンをクリックすると、[ファイル名の作成ルール] ダイアログが表示されます。

⑤ ファイル形式を選択

プルダウンメニューでバッチ処理後の画像のファイル形式を、[JPG]、[NEF]、[TIF] から選択します。

- [NEF] を選択すると、[高度な処理] メニューで [可能ならば非圧縮] と [常に圧縮] から選択できるようになります。
- [TIF] を選択すると、[高度な処理] メニューで [RGB]、[CMYK] のどちらかを選択できるようになります。[RGB] を選択した場合、さらに [常に 8 ビット]、[可能ならば 16 ビット]、[しない]、[LZW] のいずれかを選択できます。
[ICC プロファイルを埋め込む] チェックボックスをチェックすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。
- [JPG] を選択すると、プルダウンメニューで [最高圧縮率 (低画像)]、[高圧縮率]、[標準]、[高画質]、[最高画質 (低圧縮率)] から選択できるようになります。また、画質スライダーで画質を調整することもできます。
[ICC プロファイルを埋め込む] チェックボックスをチェックすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。

⑥ 保存先

保存先選択は、画像の保存先を選択するために用います。

フォルダを選択

[フォルダを選択] を選ぶことにより、バッチ処理後に画像の保存先として使用するフォルダを手動で指定することができます。参照ボタンをクリックし、処理済画像を保存する場所を指定します。

元画像フォルダを使用する

[元画像フォルダを使用する] は、処理済ファイルを元のフォルダに保存します。

表示メニュー（使用説明書 P.195）

[表示] メニューに [モニターポイントを表示] が追加されました。画像情報パレットで作成したモニターポイントの表示 / 非表示を選択できます。

表示	
✓コントロールポイントを全て表示	
選択範囲の表示	
グリッドを表示	
モニターポイントを表示	
白とび表示	Shift+H
黒つぶれ表示	Shift+S
フォーカスエリア表示	
100%で表示	Ctrl+Alt+0
画面に合わせて表示	Ctrl+0
ズームイン	Ctrl++
ズームアウト	Ctrl+-
全画面表示	F
パレットを隠す	Tab
比較	▶

